



S コマンド

この章では、S で始まる Cisco NX-OS マルチプロトコル ラベル スイッチング コマンドについて説明します。

send-lifetime

キーの送信ライフタイムを設定するには、**send-lifetime** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

send-lifetime {*start-time* | **local start-time**} {**duration seconds** | *end-time* | **infinite**}

no send-lifetime {*start-time* | **local start-time**} {**duration seconds** | *end-time* | **infinite**}

構文の説明

start-time	開始時刻。hh:mm:ss は時間のフォーマットです。有効な範囲は 0 ~ 23: 0 および 59: 0 ~ 59 です。最長で英数字 8 文字です。
local start-time	現在地の時間帯での時刻を指定します。hh:mm:ss は時間のフォーマットです。
duration	送信ライフタイム期間を次のように設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 1 ~ 31 の日付を入力します。 • 月の名前を入力します。 • 1993 ~ 2035 の年を入力します。
seconds	秒。有効範囲は 1 ~ 2147483646 秒です。
end-time	停止する時刻。
infinite	送信ライフタイム期間を期限切れしないように設定できます。

デフォルト

なし

コマンドモード

キーチェーン キー コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

no accept-lifetime 値が定義されている場合、関連付けられた受信パスワードは着信 TCP セグメントの認証に有効です。

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、キーの送信ライフタイムを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# key chain keychain1
switch(config-keychain)# key 10
switch(config-keychain-key)# send-lifetime 10:00:00 Jan 13 2010 10:00:00 Jun 13 2010
switch(config-keychain-key)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>mpls ldp configuration</code>	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

session protection

マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) セッション保護をイネーブルにするには、**session protection** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
session protection [for prefix-list] [duration {seconds | infinite}]
```

```
no session protection [for prefix-list] [duration {seconds | infinite}]
```

構文の説明

for	(任意) 保護されるプレフィックス リストを指定します。
<i>prefix-list</i>	(任意) ラベル スイッチドパス (LDP) ピアのプレフィックス リスト。
duration	(任意) リンク ディスカバリ プロセスで損失が検出されてからセッション保護を維持する期間を指定します。
<i>seconds</i>	(任意) ホールドアップ時間 (秒単位)。指定できる範囲は 30 ~ 2147483 です。
infinite	(任意) リンク ディスカバリ プロセスで損失が検出されてからセッション保護を無期限に継続するよう指定します。

デフォルト

なし

コマンド モード

LDP コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、MPLS LDP セッション保護をイネーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# mpls ldp configuration
switch(config-ldp)# session protection for prefix1 duration 100
switch(config-ldp)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

set

2 つの Quality of Services (QoS) タイプの間の値マッピングを定義するには、**set** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

set to-field from field table table-map-name

no set to-field from field table table-map-name

構文の説明	to-filed	最も外側の (topmost) ラベル (mpls-exp-topmost) にある EXP フィールド。
	from-field	すべてのインポーズされたラベル (mpls-exp-imposition) に適用される EXP フィールド。
	table	入力から出力へのマッピングを定義するテーブルを指定します。
	table-map-name	システム定義テーブル マップまたは既存のテーブル マップの名前。

デフォルト なし

コマンドモード クラスマップ コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザーロール network-admin
vdc-admin

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例 次に、2 つの QoS の間に値のマッピングを定義する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# policy-map Policy1
switch(config-pmap-qos)# class Class2
switch(config-pmap-c-qos)# set cos mpls-exp-topmost table dscp-cos-mapset
switch(config-pmap-c-qos)# end
```

関連コマンド	コマンド	説明
	mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

set mpls experimental imposition

すべてのインポートされたラベル エントリにマルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) の試験的フィールドの値を設定するには、**set mpls experimental imposition** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

set mpls experimental imposition *mpls-exp-value*

no set mpls experimental imposition *mpls-exp-value*

構文の説明	<i>mpls-exp-value</i>	MPLS ヘッダーのすべてのインポートされたラベルに EXP 値を設定するポリシー マップ。
デフォルト	なし	
コマンド モード	アドレス ファミリ コンフィギュレーション モード	
サポートされるユーザ ロール	network-admin vdc-admin	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。	
例	次に、MPLS ヘッダーのすべてのインポートされたラベルで EXP フィールドの値を 3 に設定するポリシー マップを作成する例を示します。 <pre>switch# configure terminal switch(config)# policy-map Policy1 switch(config-pmap-qos)# class Class2 switch(config-pmap-c-qos)# set mpls experimental imposition 3 switch(config-pmap-c-qos)# end</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

shutdown (LDP コンフィギュレーション モード)

すべてのラベル配布プロトコル (LDP) セッションをシャットダウンし、フォワーディングプレーンから発信ラベルを取り消し、割り当てられたローカルラベルすべてを解放するには、**shutdown** コマンドを使用します。LDP サービスを再度アクティブ化するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

shutdown

no shutdown

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

LDP コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、すべての LDP セッションをシャットダウンする例を示します。フォワーディングプレーンからすべての発信ラベルを削除し、割り当てられたすべてのローカルラベルを解放します。

```
switch# configure terminal  
switch(config)# mpls traffic-eng configuration  
switch(config-ldp)# shutdown  
switch(config-ldp)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
mpls ldp configuration	マルチプロトコルラベルスイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

shutdown (TE コンフィギュレーション モード)

マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) トラフィック エンジニアリング (TE) セッションをシャットダウンするには、**shutdown** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

shutdown

no shutdown

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

TE コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) トラフィック エンジニアリング (TE) セッションをシャットダウンする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# mpls ldp configuration
switch(config-ldp)# shutdown
switch(config-ldp)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
mpls traffic-eng configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) トラフィック エンジニアリング プロトコル (MPLS-TE) を設定します。

signalling advertise explicit-null

シグナリング メッセージの明示的ヌル ラベルをアダバタイズするには、**signalling advertise explicit-null** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

signalling advertise explicit-null

no signalling advertise explicit-null

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

TE コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、シグナリング メッセージの明示的ヌル ラベルをアダバタイズする例を示します。

```
switch(config)# mpls traffic-eng configuration
switch(config-te)# signalling advertise explicit-null
switch(config-te)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
mpls traffic-eng configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) トラフィック エンジニアリング プロトコル (MPLS-TE) を設定します。

signalling client batch-time

クライアント バッチ タイマーを設定するには、**signalling client batch-time** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

signalling client batch-time msec

no signalling client batch-time msec

構文の説明	<i>msec</i>	ミリ秒。範囲は 100 ～ 2000 ミリ秒です。
デフォルト	なし	
コマンドモード	RSVP コンフィギュレーション モード	
サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。	
例	次に、クライアント バッチ タイマーを設定する例を示します。 <pre>switch(config)# ip rsvp switch(config-ip-rsvp)# signalling refresh reduction switch(config-ip-rsvp)#</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

signalling hello graceful-restart

グローバル レベルでグレースフル リスタートにノードベースの **hello** をイネーブルにするには、**signalling hello graceful-restart** コマンドを使用します。グレースフル リスタートの **hello** の送信をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

signalling hello graceful-restart

no signalling hello graceful-restart

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

ON

コマンド モード

RSVP コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、グローバル レベルでグレースフル リスタートにノードベースの **hello** をイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# ip rsvp
switch(config-ip-rsvp)# signalling hello graceful-restart
switch(config-ip-rsvp)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

signalling hello graceful-restart refresh interval

リソース予約プロトコル (RSVP) グレースフル リスタート hello メッセージが各ネイバーに送信される間隔を設定するには、**signalling hello graceful-restart refresh** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

signalling hello graceful-restart refresh interval *time*

no signalling hello graceful-restart refresh interval *time*

構文の説明	<i>time</i>	hello 間隔 (秒単位)。範囲は 2000 ~ 300000 です。
デフォルト	100000 秒	
コマンド モード	RSVP コンフィギュレーション モード	
サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。	
例	次に、RSVP グレースフル リスタート hello メッセージを各ネイバーに送信する間隔を設定する例を示します。 <pre>switch(config)# ip rsvp switch(config-ip-rsvp)# signalling hello graceful-restart interval 2200 switch(config-ip-rsvp)#</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

signalling hello graceful-restart refresh misses

hello メッセージが連続して失われた場合に、ネイバーがダウンしている、またはネイバーに到達不能であると宣言するまでの喪失数を設定するには、**signalling hello graceful-restart refresh misses** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

signalling hello graceful-restart refresh misses *refresh-misses*

no signalling hello graceful-restart refresh misses *refresh-misses*

構文の説明	<i>refresh-misses</i>	失われた hello メッセージの数。指定できる範囲は 4 ~ 10 です。
デフォルト	4	
コマンド モード	RSVP コンフィギュレーション モード	
サポートされるユーザーロール	network-admin vdc-admin	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。	
例	次に、ネイバーがダウンしているか到達不能であると宣言するまでに hello メッセージが連続して失われた数を設定する例を示します。 <pre>switch(config)# ip rsvp switch(config-ip-rsvp)# signalling hello graceful-restart refresh misses 5 switch(config-ip-rsvp)#</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

signalling hello graceful-restart send recovery-time

hello メッセージ内の restart-capability オブジェクトでアダプタイズされる回復期間を設定するには、**signalling hello graceful-restart send recovery-time** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

signalling hello graceful-restart send recovery-time *time*

no signalling hello graceful-restart send recovery-time *time*

構文の説明

time hello 間隔 (秒単位)。範囲は 2000 ~ 300000 です。

デフォルト

120 秒

コマンドモード

RSVP コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、hello メッセージでアダプタイズされる回復期間を設定する例を示します。

```
switch(config)# ip rsvp
switch(config-ip-rsvp)# signalling hello graceful-restart send recovery-time 130
switch(config-ip-rsvp)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

signalling hello graceful-restart send restart-time

hello メッセージ内の restart-capability オブジェクトでアドバタイズされる再起動期間を設定するには、**signalling hello graceful-restart send restart-time** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

signalling hello graceful-restart send restart-time *time*

no signalling hello graceful-restart send restart-time *time*

構文の説明

time hello 間隔（秒単位）。範囲は 2000 ～ 300000 です。

デフォルト

30 秒

コマンドモード

RSVP コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザーロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、hello メッセージでアドバタイズされる再起動期間を設定する例を示します。

```
switch(config)# ip rsvp
switch(config-ip-rsvp)# signalling hello graceful-restart send restart-time 130
switch(config-ip-rsvp)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

signalling hello reroute

hello メッセージの使用を再ルーティングするには、シグナリングの **signalling hello reroute** コマンドを使用します。再ルーティング hello の送信をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

signalling hello reroute

no signalling hello reroute

構文の説明

このコマンドに、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

OFF

コマンドモード

RSVP コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、再ルーティング hello メッセージを設定する例を示します。

```
switch(config)# ip rsvp
switch(config-ip-rsvp)# signalling hello reroute
switch(config-ip-rsvp)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

signalling initial-retransmit-delay

リソース予約プロトコル (RSVP) が同じメッセージを再送信する前に確認応答を待つ最小時間を設定するには、**signalling initial-retransmit-delay** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

signalling initial-retransmit-delay *time*

no signalling initial-retransmit-delay *time*

構文の説明	<i>time</i>	hello 間隔 (秒単位)。範囲は 2000 ~ 300000 です。
デフォルト	1 秒	
コマンド モード	RSVP コンフィギュレーション モード	
サポートされるユーザーロール	network-admin vdc-admin	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。	
例	次に、同じメッセージを再送信する前に確認応答の RSVP が待機する最小時間を設定する例を示します。 switch(config)# ip rsvp switch(config-ip-rsvp)# signalling initial-retransmit-delay 4 switch(config-ip-rsvp)#	
関連コマンド	コマンド	説明
	mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

signalling patherr state-removal

PATH-ERROR メッセージを転送するときにパス状態を自動的に削除するには、**signalling patherr state-removal** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

signalling patherr state-removal

no signalling patherr state-removal

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

無効

コマンド モード

RSVP コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、PATH-ERROR メッセージを転送する場合に PATH 状態を自動的に削除する例を示します。

```
switch(config)# ip rsvp
switch(config-ip-rsvp)# signalling patherr state-removal
switch(config-ip-rsvp)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

signalling rate-limit

隣接ルータに送信されるメッセージ数をレート制限するには、**signalling rate-limit** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
signalling rate-limit {[interval msec] [limit messages]}
```

```
no signalling rate-limit {[interval msec] [limit messages]}
```

構文の説明

interval	(任意) スケジューリング間隔を指定します。
<i>msec</i>	ミリ秒単位の間隔です。指定できる範囲は 250 ~ 2000 です。
limit	(任意) スケジューリング間隔ごとのメッセージ制限を指定します。
<i>messages</i>	メッセージ制限の値。指定できる範囲は 1 ~ 500 です。

デフォルト

デフォルトは、次のとおりです。

- Interval : デフォルトは 1000 です。
- Limit : デフォルトは 100 です。

コマンドモード

RSVP コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザーロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、隣接ルータに送信されるメッセージの数のレート制限を設定する例を示します。

```
switch(config)# ip rsvp
switch(config-ip-rsvp)# signalling rate-limit interval 300
switch(config-ip-rsvp)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

signalling refresh interval

リソース予約プロトコル (RSVP) ステートが更新される頻度を設定するには、**signalling refresh interval** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

signalling refresh interval *time*

no signalling refresh interval *time*

構文の説明	<i>time</i>	hello 間隔 (秒単位)。範囲は 2000 ~ 300000 です。
デフォルト	30 秒	
コマンドモード	RSVP コンフィギュレーション モード	
サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。	
例	次に、RSVP 状態がリフレッシュされる頻度を設定する例を示します。 <pre>switch(config)# ip rsvp switch(config-ip-rsvp)# signalling refresh interval 35 switch(config-ip-rsvp)#</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

signalling refresh misses

状態が期限切れになるとリソース予約プロトコル (RSVP) が決定する前に失われてもよいリフレッシュメッセージの数を設定するには、**signalling refresh misses** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

signalling refresh misses *refresh-missed*

no signalling refresh misses *refresh-missed*

構文の説明	<i>time</i> hello 間隔 (秒単位)。範囲は 2000 ~ 300000 です。				
デフォルト	4 秒。				
コマンド モード	RSVP コンフィギュレーション モード				
サポートされるユーザーロール	network-admin vdc-admin				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5.2(1)</td> <td>このコマンドが追加されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	5.2(1)	このコマンドが追加されました。
リリース	変更内容				
5.2(1)	このコマンドが追加されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。				
例	<p>次に、状態が期限切れになると RSVP が判断する前に失われてもよいリフレッシュメッセージの数を設定する例を示します。</p> <pre>switch(config)# ip rsvp switch(config-ip-rsvp)# signalling refresh misses 5 switch(config-ip-rsvp)#</pre>				
関連コマンド	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コマンド</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>mpls ldp configuration</td> <td>マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	説明	mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。
コマンド	説明				
mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。				

signalling refresh reduction

リソース予約プロトコル (RSVP) リフレッシュ削減をイネーブルにするには、シグナリング **signalling refresh reduction** コマンドを使用します。RSVP リフレッシュ削減をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

signalling refresh reduction

no signalling refresh reduction

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

イネーブル

コマンドモード

RSVP コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、RSVP リフレッシュ削減をイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# ip rsvp
switch(config-ip-rsvp)# signalling refresh reduction
switch(config-ip-rsvp)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

signalling refresh reduction ack-delay

リソース予約プロトコル (RSVP) が確認応答を送信するまでに保持する時間の上限を設定するには、**signalling refresh reduction ack-delay** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

signalling refresh reduction ack-delay *time*

no signalling refresh reduction ack-delay *time*

構文の説明	<i>time</i>	hello 間隔 (秒単位)。範囲は 2000 ~ 300000 です。
デフォルト	0.25 秒	
コマンド モード	RSVP コンフィギュレーション モード	
サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。	
例	次に、RSVP が確認通知を送信する前に保持する時間の上限を設定する例を示します。 <pre>switch(config)# ip rsvp switch(config-ip-rsvp)# signalling refresh reduction ack-delay switch(config-ip-rsvp)#</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

signalling refresh reduction bundle-max-size

バンドルの最大送信メッセージサイズを設定するには、**signalling refresh reduction bundle-max-size** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

signalling refresh reduction bundle-max-size *value*

no signalling refresh reduction bundle-max-size *value*

構文の説明

value バンドル サイズ (バイト単位)。指定できる範囲は 0 ~ 65000 です。

デフォルト

4096 バイト

コマンドモード

RSVP コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、バンドルの最大送信メッセージサイズを設定する例を示します。

```
switch(config)# ip rsvp
switch(config-ip-rsvp)# signalling refresh reduction bundle-max-size 30
switch(config-ip-rsvp)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。